



## バーコードリーダー PA-BR-001

### PA-BR-001 ユーザーズガイド

このたびは、バーコードリーダー PA-BR-001 をお買い上げいただきありがとうございます。  
PA-BR-001（以下「本機」）は、小型・軽量 CCD タイプのロングレンジバーコードリーダーです。  
弊社ラベルプリンターの USB ホストインターフェイスを有するラベルプリンターとの接続にて、バーコードコピー等のバーコードテンプレート印刷 (BTP) 機能でご利用ください。  
ご使用の前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。  
なお、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

#### ■ 取扱説明書について

- ユーザーズガイド (本紙)  
本機の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。
- ユーザーズメニューブック  
本機の設定メニューについて詳しく説明しています。  
標準設定のままでは、不都合がある場合等に確認ください。  
ユーザーズメニューブックについては、弊社ホームページ上のサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）<http://support.brother.co.jp> からダウンロードしてください。バーコードリーダー本体には同梱されておりません。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）では最新のプリンター関係のソフトウェアをダウンロードしたり、FAQ やトラブルの対処方法を見たりすることもできます。

#### ■ 編集ならびに出版における通告

- ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。  
また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
- 本書における画面表示は使用するパソコンの OS やプリンターによって異なります。
- 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万が一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 万一、本機を通じて作成したラベルを使用したこと、および本機の故障・修理によりデータが消えたり変化したことによって生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

#### ■ 商標について

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。  
Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。  
Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。  
その他記載したソフトウェア名、製品名は、開発元各社の商標または登録商標です。

## 安全上のご注意

本製品をお使いいただく方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただきたい事項について、いろいろな絵表示にて説明しております。  
その表示と意味は次の通りです。

	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵表示は次の通りです。

- 記号は：「気をつけるべきこと」危険通告を意味しています。
- 記号は：「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。
- 記号は：「しなければならないこと」義務行為を意味しています。

<b>警告</b>	
火災、故障、感電、窒息の原因となりますので、以下のことを必ずお守りください。	
	● 分解、改造しないでください。 内部の点検、調整、修理は、「お買い上げの販売店またはブラザーコールセンター」にご依頼ください。（お客様による分解、改造により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。） ● 落としたり、踏んだり、強い衝撃を与えないでください。 ● コーヒーやジュースなどの飲み物、花瓶の水をかけるなど、水で濡らさないでください。 ● 異物が本機に入った状態で使用しないでください。 万一、本機が破損したり、本機に水などの液体や異物が入った場合は、速やかにラベルプリンター本体から取り外し、「お買い上げの販売店またはブラザーコールセンター」にご連絡ください。
	● 激しい雷雨の最中は本機に触れないでください。感電の原因となります。
	● 使用中や保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形、その他今までと異なることに気づいたときは、本機のケーブルをラベルプリンターから外し、すぐに使用を中止してください。
<b>注意</b>	
	● 読み取り窓から投光 LED 光を直接のぞかないでください。 目に障害をおよぼす場合があります。
	● 長時間ご使用にならないときは、安全のために必ず、本機のケーブルをラベルプリンターから外してください。 ● ラベルプリンター本体への接続は、USB コネクタを持って行ってください。 決して、ケーブルを引っ張らないでください。

## 使用上のご注意

- 本機はテレビやラジオの近くに置くと、誤動作する可能性があります。  
電磁妨害のもとになる機器の近くには設置しないでください。
- 投光 LED 点灯状態で USB コネクタの抜き差しをしないでください。  
誤動作する場合があります。
- CRT 等点滅する光の当たる場所、磁性体が近傍に置かれている場所ではバーコードが読み取れない場合があります。
- 直射日光の当たる場所、火器・暖房器具の近くなど温度の極端に高い場所や低い場所、湿気やほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。使用温湿度範囲は、接続される弊社製ラベルプリンターのユーザーズガイドでご確認ください。
- 最適な読み取り動作を維持するため、読み取り窓を定期的に掃除してください。  
軽く湿った柔らかい布で、本機の外側を拭いてください。  
高圧洗浄方法を使用しないでください。  
洗浄液が必要な場合、少量（1 滴）の家庭用洗剤を使い、固く絞った布等で拭き取りを行ってください。  
なお、洗浄液は、研磨剤を使用していないものをお選びください。
- 本機は、弊社製ラベルプリンター以外とも接続可能ですが、弊社製ラベルプリンター以外の接続については、お客様の自己責任でお願い致します。弊社保証は、弊社製ラベルプリンターとの接続時のみとなります。

## お問い合わせ先

ブラザーコールセンター	
URL	<a href="http://support.brother.co.jp">support.brother.co.jp</a>
TEL	0570 - 061030
受付時間	9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00 (月曜日～土曜日)
＊ 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます	
＊ 営業時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。 その際はホームページにてお知らせいたします。	
(ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。)	

#### お知らせ：

弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）  
<http://support.brother.co.jp> では、最新 OS への対応状況、最新ソフトウェアのダウンロード、よくある質問など皆様のお役に立てる情報を提供しております。

- ＊ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）には、弊社ホームページ（<http://www.brother.co.jp>）内製品ページからもアクセスすることができます。

#### 本製品の保証期間

本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。

## 製品仕様

電気的特性		環境特性	
入力電源電圧	4.5 ～ 5.5V (USB)	動作温度	0 ～ 50 ℃
インターフェイス	USB (HID)	保管温度	－ 20 ～ 60 ℃
光学的特性		物理仕様	
光源	赤色 LED 波長：624nm	質量	約 115g (ケーブルを含む)
読み取り方式	1500 画素 CCD		
読み取り速度	最高 300 スキャン／秒		
読み取り深度	20 ～ 220mm (分解能 0.25mm)		
読み取り幅	110mm		
最小 PCS 値	0.3 以上		
最小分解能	0.1mm		

#### 読み取り可能コード

UPC-A, UPC-E, EAN-13 (JAN13), EAN-8 (JAN8), Code 39, NW-7 (Codabar), Industrial 2 of 5, Interleaved 2of 5, Code 93, Code 128, GS1-128, GS1 DataBar Omnidirectional, GS1 DataBar Limited, GS1 DataBar Expanded

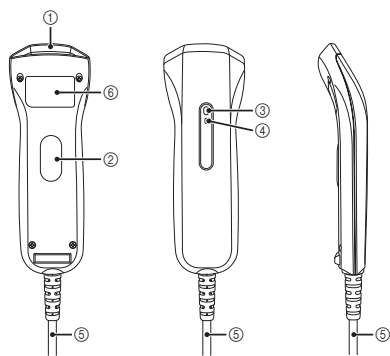
- PA-BR-001 接続可能機種  
PT-9800PCN / PT-P950NW / RJ-3150 / TD-2130 シリーズ (USB ホスト搭載機種)

#### 主な工場出荷設定

全体設定	US キーボード、プレフィックス / サフィックス：なし
JAN13/8 設定	CD (チェックデジット) 転送あり
Interleaved 2of5 (ITF) 設定	CD (チェックデジット) 転送あり
Code 39 設定	ST/SP (スタート / ストップコード) 転送：なし
NW-7 (Codabar) 設定	ST/SP (スタート / ストップコード) 転送：ABCD/ABCD

注 ) JAN13/8、ITF で、バーコードテンプレート印刷 (BTP) の置き換え印刷を行なう場合のデータベースは、CD ありでデータ作成してください。  
また、バーコードデータは、必ず、データベースの先頭 (第 1 列) に配置してください。

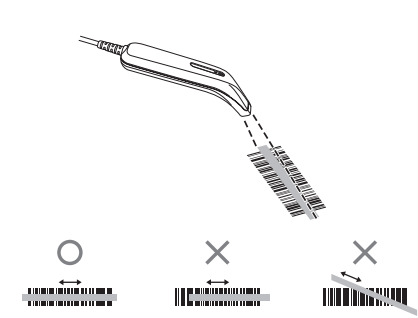
## 各部の名称と機能



- ① 読み取り窓  
読み取り窓でバーコードを読み取ります。  
この窓を決して遮断しないでください。
- ② トリガキー  
トリガキーで本機の動作を開始します。
- ③ LED インジケータ
- ④ ブザー
- ⑤ ケーブル / コネクタ
- ⑥ 定格銘板

バーコードの読み取り方法

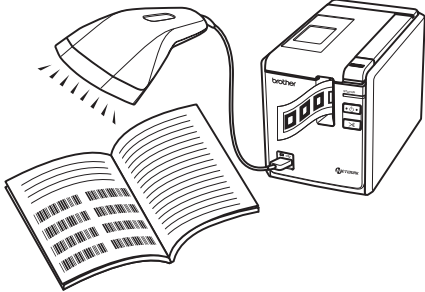
ラベルプリンター本体の USB ホスト端子に接続し、ラベルプリンター本体の電源を ON にします。



- 読み取り
- ① 本機の読み取り窓をバーコードの方へ向けてください。
- ② トリガキーを押して、バーコードを読み取ります。  
ブザー鳴動およびLED インジケータ（青色）が点灯すれば、読み取り完了です。
- 注 1) マージンを含むバーコード幅は、光線幅に収まらなければなりません。
- 注 2) バーコードに近づけすぎると読み取れない場合があります。トリガキーを押しながらゆっくりと、読み取りバーコードから離して行き、ブザー鳴動およびLED インジケータ（青色）が点灯すれば、正常に読み取りが完了したことになります。

バーコードテンプレート印刷 (BTP) 機能について

弊社製ラベルプリンターに本機を接続して、バーコードを読み取るだけでパソコンに接続しなくても、ラベルやバーコードを簡単に印刷できます。  
注) バーコードテンプレート印刷 (BTP) 機能は、Windows OS のみ対応しています。  
Mac OS は、テンプレート転送に対応していないため使用できません。



バーコードテンプレート印刷 (BTP) 機能では、以下の 3 種類の印刷が可能です。

機能 1： 定型テンプレート印刷	使用頻度の高いラベルテンプレートをラベルプリンター本体に転送しておくと、バーコードを読み取るだけで、同じラベルが印刷できます。
機能 2： バーコード作成 (コピー) 印刷	読み取ったバーコードを、あらかじめラベルプリンター本体に転送しておいたラベルテンプレートのサイズや規格に合わせて印刷します。
機能 3： データベース置換印刷	データベースと連動させたラベルテンプレートをラベルプリンター本体に転送しておくことで、データベース上のバーコードと一致するバーコードを読み取ると、該当のラベルが印刷できます。

機能 1：定型テンプレート印刷機能

■ 概要手順

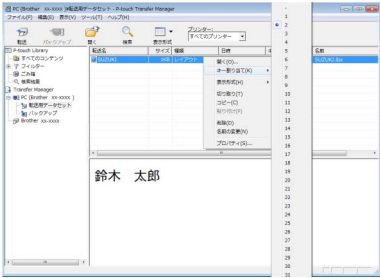
ラベルデータ作成 ⇒ ラベルデータをラベルプリンター本体へ転送 ⇒ 本機で所定のバーコードを読み取り ⇒ ラベル印刷

■ 手順

- テンプレートデータを作成します。  
P-touch Editor を起動して、印刷したいラベルデータを作成します。  
[ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックし、ファイル名を付けて保存します。
- 印刷例：

鈴木 太郎

  - ラベルデータは、①テキストデータ、②バーコード、③テキストデータ+バーコードデータのいずれの場合も定型テンプレート印刷可能です。
- ラベルプリンターとパソコンを USB 接続し、テンプレートデータを転送します。  
[ファイル] - [テンプレートの転送] をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。  
[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。  
この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。  
\* 例ではキー割り当ては [2] を選択しています。  
\* キー割り当ては、1 ～ 99 の範囲で指定できます。

- 本機を接続します。  
ラベルプリンター本体の USB ホスト端子に本機を接続します。
- ラベルを印刷します。  
本書の「設定用バーコード一覧」あるいは、設定用バーコードをラベルプリンターにてあらかじめ印刷して準備ください。
  - 「P-touch テンプレートコマンド ( 初期設定 + 設定開始 )」のバーコードを本機で読み取ります。  
■ P-touch テンプレートコマンド ( 初期設定 + 設定開始 )



- ラベルプリンターの初期設定は、P-touch テンプレートコマンドに設定されています。

- テンプレート番号選択 (^TS ○○○) + 印刷開始コマンド (^FF) を読み取ることで、印刷開始します。  
( 例 ) 手順 1 で作成したテンプレート ( キー割り当て 2 ) を印刷する場合には、下記「定型テンプレート 2」のバーコードを読み取ります。

■ 定型テンプレート番号



^TS001^FF



^TS002^FF



^TS003^FF



^TS004^FF

手順 1 で作成したテンプレートが印刷されます。  
作成例では、鈴木 太郎 のラベルが印刷されます。

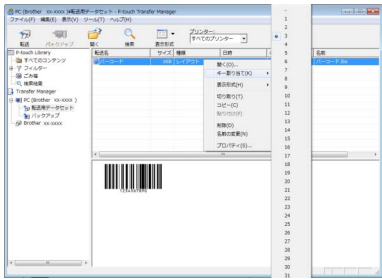
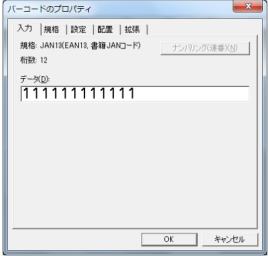
機能 2：バーコード作成 (コピー) 印刷機能

■ 概要手順

バーコードラベル作成 ⇒ ラベルデータをラベルプリンター本体へ転送 ⇒ コピーしたいバーコードラベルの読込 ⇒ ラベル印刷

■ 手順

- ラベルテンプレート (バーコード) を作成します。
  - P-touch Editor を起動します。
  - [挿入] - [バーコード] でバーコードのプロパティを開いて、データを入力します。  
作成例 (JAN13)：
- ラベルプリンターとパソコンを USB 接続し、テンプレートデータを転送します。
  - [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックし、ファイル名を付けて保存します。
    - 事前にテンプレートで指定したバーコードの規格で印刷されます。  
( テキストで作成されたテンプレートの場合は、テキストでコピーされます。 )
    - ご使用になるバーコードの最大桁数に合わせてラベルの長さをご指定ください。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。  
[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。  
この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。

- テンプレート番号を選択します。  
( 例 ) キー割り当て 3 の場合
- テンプレート選択



- 作成 (コピー) したいバーコードを読み取ります。  
( 例 ) 商品バーコード (JAN13)
- 印刷開始コマンド (^FF) バーコードを読み取ることで、印刷開始します。  
印刷開始コマンド (^FF) ラベルをあらかじめ印刷準備されることをお勧めします。

■ 印刷開始



機能 3：データベース置換印刷機能

■ 概要手順

データベースと関連付けしたラベルデータ作成 ⇒ ラベルデータをラベルプリンター本体へ転送 ⇒ 本機で所定のバーコードを読み取り ⇒ ラベル印刷  
例では、商品バーコード①と商品名②、価格③、円④のラベルデータを作成します。  
作成例：

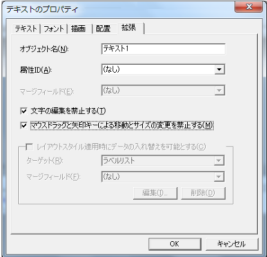
② —カフェオレ



商品バーコードを読み込むと、該当のラベルが印刷できます。  
事前に手順 4-2 で使用するキーバーコード ( 商品バーコード ) をご用意ください。

■ 手順

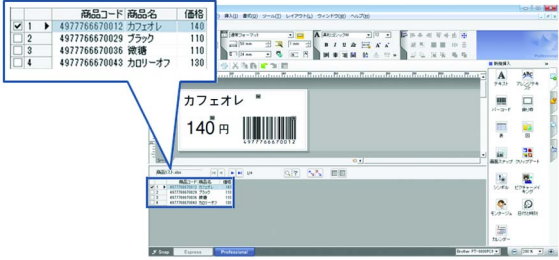
- データベース (Excel 等) と関連付けしたデータを作成します。
  - Excel 等にて、データベース (一覧表) を作成します。  
作成例のラベルを作成する場合  
① バーコード部分に反映したいバーコードデータ ( 商品コード ) = キーバーコード JAN13/8、ITF バーコードを作成する場合、チェックデジット (CD) を含めたデータで作成してください。  
② 商品名  
③ 価格  
④ 円：固定データであり、データベース接続で関連付けされていないデータ  
作成したラベル内のテキスト部分を選択して、右クリックして、プロパティを選択します。



- 「文字の編集を禁止する」、「マウスドラッグと矢印キーによる移動とサイズの変更を禁止する」にチェックを入れます。  
バーコードコピー印刷時にも固定のテキストデータを使用したい場合、この要領で行ないます。



2. P-touch Editor を起動して、データベースと接続して、関連付けしたデータを作成します。  
[ファイル] - [データベース] - [接続] をクリックして、元になるデータベースの場所を指定して、接続します。

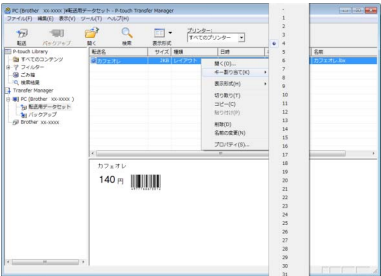


\* データベースと関連付けさせる詳細要領については、ラベルプリンター本体のソフトウェアユーザーズガイド等で確認ください。

[ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックし、ファイル名を付けて保存します。

- Excel 以外にデータベースとして使用できるファイル形式は、mdb、csv、txt です。
- P-touch Editor のデータ (.lhx) とデータベースのデータは、同一フォルダ内に保存してください。
- データベース 1 行目に項目のタイトルが入っていると、関連付けするときの項目名に使えます。「データベースで開く」ウィザードで項目名を指定することもできます。
- データベース 1 列目にバーコードの数字を指定します。  
JAN13/8、ITF バーコードを作成する場合、チェックデジット (CD) を含めたデータで作成してください。

2. ラベルプリンター本体とパソコンが USB 接続されていることを確認して、データベースと関連付けしたデータをラベルプリンター本体に転送します。
1. [ファイル] - [テンプレートの転送] をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。  
[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。  
この番号は印刷する時のラベルテンプレート番号になります。

2. [転送] をクリックして、ラベルプリンター本体にデータベースと関連付けしたデータを転送させます。

3. 本機を接続します。  
ラベルプリンター本体の USB ホスト端子に、本機を接続します。

4. ラベルを印刷します。
1. 「テンプレート選択」バーコードを読み取り、テンプレート番号を選択します。  
(例) テンプレート選択 (キー割り当て) 4 の場合 ... 「^TS004」を指定します。



2. テンプレートと一緒に転送したデータベースの中の印刷したいバーコードを読み取ります。  
(例) 4977766670029 のバーコード
3. 続けてデリミタ (区切りコード) バーコード「HT (水平タブ)」バーコードを読み取ります。



4. 印刷開始コマンド (^FF) バーコードを読み取ることで、印刷を開始します。
- 印刷開始



作成例では、バーコード (4977766670029) と同じ行の商品名「ブラック」、価格「110」のラベルが印刷されます。

印刷例: ブラック



## 応用操作：ナンバリング印刷機能

### ナンバリング (連番) 印刷機能

ラベルの番号、バーコードの番号を自動で、1 カウントアップさせながら印刷できます。

#### ■ 概要手順

テキストラベル作成 ⇒ ラベルデータをラベルプリンター本体へ転送 ⇒ 本機で所定のバーコードを読み取り ⇒ ラベル印刷

#### ■ 手順

1. テキストラベルを作成します。
- P-touch Editor を起動します。
  - テキストを入力します。

作成例: 1234567890

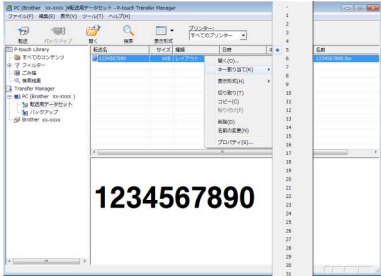
- 左クリックしながら、ナンバリング範囲を指定します。
- 右クリックして [ナンバリング (連番)] を選択します。



- 最大 9ヶ所まで、ナンバリング範囲を指定することができます。
- ナンバリング範囲で指定できる文字数は、最大 15 文字です。

2. ラベルプリンター本体とパソコンが USB 接続されていることを確認して、ラベルデータをラベルプリンター本体に転送します。

1. [ファイル] - [テンプレートの転送] をクリックし、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。  
[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。  
この番号は、印刷するときのラベルテンプレート番号になります。

2. [転送] をクリックして、ラベルプリンター本体にラベルデータを転送します。

3. 本機を接続します。  
ラベルプリンター本体の USB ホスト端子に、本機を接続します。

4. ラベルを印刷します。
1. 「テンプレート選択」バーコードを読み取り、テンプレート番号を選択します。  
例: テンプレート選択 (キー割り当て) 5 の場合 ... 「^TS005」を指定します。



2. 「ナンバリング印刷枚数」 (^NN) コマンドを読み取ります。



3. 「ナンバリング印刷枚数」コマンドに続き、印刷枚数を「テンキー入力」を参照して、3 桁の数字を読み取り、指定します。  
例: 5 枚の場合



4. 印刷開始コマンド (^FF) を読み取ることで、印刷を開始します。



作成例では、1234567890～1234567894 のラベルが印刷されます。

- ナンバリングのカウントは、印刷するたびに 1 カウントアップされます。
- カウントは、ラベルプリンターの電源を OFF しても保持されます。
- カウントを元に戻す場合は、下記バーコード「テンプレートデータ初期化」を読み取ります。



### バーコードラベルのナンバリング (連番) 印刷機能

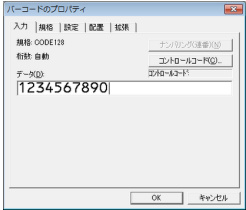
#### ■ 概要手順

バーコードラベル作成 ⇒ ラベルデータをラベルプリンター本体に転送 ⇒ ラベル印刷

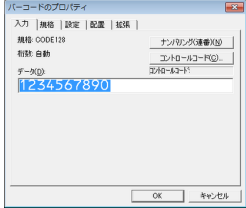
#### ■ 手順

1. バーコードラベルを作成します。
- P-touch Editor を起動します。
  - [挿入] - [バーコード] でバーコードのプロパティを開き、データを入力します。

作成例:



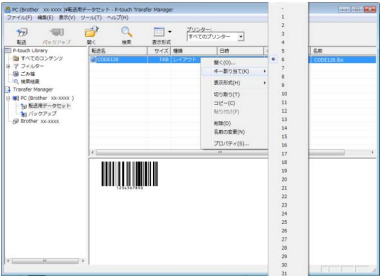
- 作成例は、CODE 128 バーコードです。
3. 左クリックしながら、ナンバリング範囲を指定します。



4. [ナンバリング (連番)] ボタンをクリックして、[O K] をクリックします。

- 最大 9ヶ所まで、ナンバリング範囲を指定することができます。
- ナンバリング範囲で指定できる文字数は、最大 15 文字です。

2. ラベルデータをラベルプリンター本体に転送します。
1. [ファイル] – [テンプレートの転送] をクリックして、Transfer Manager を起動させます。



リストからラベルデータを選択して、右クリックでメニューを表示させます。  
[キー割り当て] を選択するとキーの番号が、選択できます。  
この番号は、印刷するときのラベルテンプレート番号になります。

2. [転送] をクリックして、ラベルプリンター本体にラベルデータを転送します。
3. 本機を接続します。  
ラベルプリンターの USB ホスト端子に本機を接続します。
4. ラベルを印刷します。  
1. 「テンプレート選択」バーコードを読み取り、テンプレート番号を選択します。  
例：テンプレート選択 (キー割り当て) 6 の場合 ... 「^TS006」を指定します。

■ テンプレート選択

■ テンキー入力

• 00

• 6



2. 「ナンバリング印刷枚数コマンド」を本機で読み取ります。
3. 印刷枚数を指定します。  
印刷枚数を「テンキー入力」を参照して、3桁の数字を本機で読み取ります。  
例：5枚の場合

• 00

• 5



4. 印刷開始コマンド (^FF) を読み取るにより、印刷開始します。
- 作成例では、[1234567890]～[1234567894]のラベルが印刷されます。

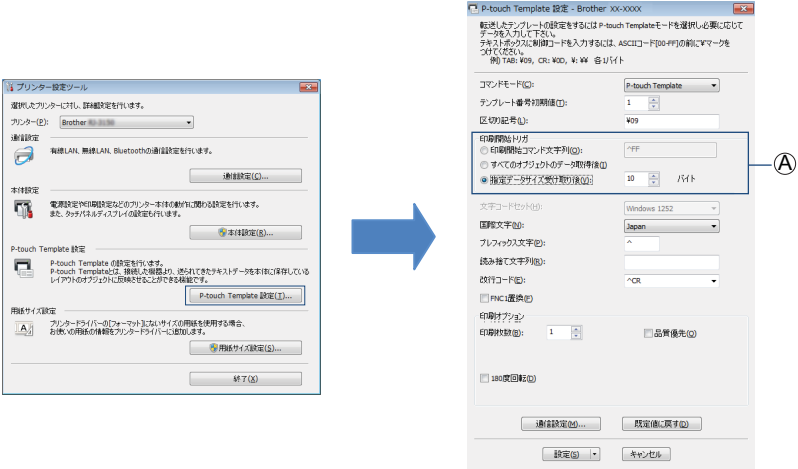
- ナンバリングのカウン트는、印刷するたびに1カウントアップされます。
- カウン트는、ラベルプリンターの電源をOFFしても保持されます。
- カウンートを元に戻す場合は、下記バーコード「テンプレートデータ初期化」を読み取ります。



## 補足：P-touch テンプレート設定方法

弊社サポートサイト（プラザーソリューションセンター）<http://support.brother.co.jp> からソフトウェアをダウンロードして、ラベルプリンター本体側設定を変更することができます。

- [ソフトウェアダウンロード] をクリックして、お使いの製品と OS を選択してください。
- 「ユーティリティソフトウェア」の中から「プリンター設定ツール」をダウンロードしてください。
- 「プリンター設定ツール」を起動し、[P-touch Template 設定] で各項目を設定して、[設定] をクリックします。



注) PT-9800PCN のお使いの場合は、「ユーティリティソフトウェア」の中からの「P-touch Template ツール」をダウンロードし、P-touch Template Settings.exe を起動し、ラベルプリンター本体側設定を行ないます。

- ラベルプリンター本体の初期設定では、本機で「^FF」のコードを読み込んだときに印刷開始します。
- 「指定データサイズ受取り後」をチェックしてバイト数を指定すると指定バイト数のバーコードを読み取り後、自動で印刷させることもできます。  
\* 画面 A は、10 バイトに変更した例です。

## 設定用バーコード一覧

### 本機の初期化

本機を工場出荷設定に戻します。  
上から、ZZ → BAP → ZZ の順で読み取ります。  
この設定は、ラベルプリンター本体と接続した状態では行なわず、パソコンの USB 端子に接続して行なってください。



設定開始



初期化



設定終了

### ラベルプリンター本体と接続して行なう設定コード

#### ■ P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）



#### 1. 機能設定コード

##### ■ テンプレート選択



##### ■ デリミタ (区切り記号)



##### ■ 印刷開始コマンド



##### ■ 印刷枚数



##### ■ ナンバリング印刷



##### ■ テンプレートデータ初期化



- テンプレート選択、印刷枚数設定、ナンバリング印刷を行なう際には、それぞれの設定コードに続けて、3桁の数字入力を行ない、テンプレート番号、印刷枚数、ナンバリング印刷枚数を設定します。

#### 2. テンキー入力

##### • 1



##### • 2



##### • 3



##### • 4



##### • 5



##### • 6



##### • 7



##### • 8



##### • 9



##### • 0



##### • 00



#### 3. 定型テンプレート番号印刷例

##### • 定型テンプレート 1



##### • 定型テンプレート 2



##### • 定型テンプレート 3



##### • 定型テンプレート 4



##### • 定型テンプレート 5



##### • 定型テンプレート 6



##### • 定型テンプレート 7



##### • 定型テンプレート 8



##### • 定型テンプレート 9



##### • 定型テンプレート 10



- 定型テンプレート設定コードに続けて、印刷開始 (^FF) コードを付加することにより、テンプレート設定と同時に印刷開始することができます。

### トラブルシューティング

問題点	対処方法
本機の電源が入らない (LED インジケータが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"><li>ラベルプリンターの電源は入っていますか？</li><li>USB コネクタが、きちんと挿入されていますか？</li><li>ケーブルが破損していませんか？</li><li>パソコンに接続して、電源が入るか確認してみてください。 * 本機に電源が入ると、ブザー鳴動とともに LED インジケータが点灯します。ブザー鳴動終了で LED インジケータも消灯します。</li></ul>
本機が動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>トリガキーを押しているかをチェックしてください。</li><li>適切なインターフェイスと接続しているかチェックしてください。</li></ul>
バーコードが読み取れない	<ul style="list-style-type: none"><li>読み取り窓を清掃してください。</li><li>読み取り用バーコードが損傷していませんか？</li><li>別のバーコードで読み取りできるかを確認してください。</li><li>読み取り用バーコード幅が、投光 LED 光の幅を超えていませんか？</li><li>本機の読み取り角度を変えてみてください。</li><li>読み取り用バーコードからゆっくりと離して行き、読み取りできるかを確認してください。</li></ul>

- 本機のトラブルが、お客様で解決できなかった場合には、「お買い上げの販売店またはプラザーコールセンター」にご連絡ください。